



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <http://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・IR部長 (氏名) 森山 勇二

TEL 092-724-4925

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,569	4.6	208	50.6	206	52.0	127	92.5
30年3月期第1四半期	2,457	5.4	138	42.8	136	40.4	66	51.8

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 134百万円 (98.8%) 30年3月期第1四半期 67百万円 (42.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	21.05	
30年3月期第1四半期	10.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	8,872	5,154	58.1	848.52
30年3月期	8,979	5,141	57.3	846.40

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 5,154百万円 30年3月期 5,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		20.00	20.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,120	5.2	620	19.6	600	17.6	350	22.9	57.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	6,257,230 株	30年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	182,368 株	30年3月期	182,368 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	6,074,862 株	30年3月期1Q	6,256,701 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種政策の効果、企業業績や雇用環境の緩やかな景気回復基調で推移しております。しかしながら、食料品の高騰や生活必需品などの価格上昇の懸念もあることから、個人消費は引き続き購買の低迷が続いております。

食品業界及び外食業界におきましても、消費者の根強い低価格志向などの生活防衛意識が強まるなかで企業間競争も激化し、お客様の品質や安全・安心を求める選別消費の傾向が強まっております。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をとおして、ブランド価値の向上に努めてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、25億69百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

利益面では、売上総利益は売上高増加により前年同期比5.1%増加し、販売費及び一般管理費を前年同期比0.5%の増加に抑えたことにより、営業利益は2億8百万円（前年同期比50.6%増）、経常利益は2億6百万円（前年同期比52.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億27百万円（前年同期比92.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①食品事業

今期の経営施策である「ドレッシングで新しいマーケットの創出」、「既存商品の拡販継続」、「パスタ事業強化」などにより、より一層の試食販売の強化や定番商品売り場の拡大に努め、積極的な売上拡大を図ってまいりました。

ドレッシング事業は、主力商品の「和風しょうゆドレッシング群（オレンジキャップ、グリーン、ライトタイプ）」が売上を伸ばすとともに、「焙煎香りごま」が好調に推移し、新しい商品提案では、カテゴリー見直しとして発売しました「レモンとたまねぎ」も好調に推移しております。

パスタ事業は、前年同期比21.7%増加しました。これは、「洋麺屋ピエトロ」パスタソースシリーズはやや低調に推移しましたが、リブランディング商品である「おうちパスタ」シリーズが大きく売上を伸ばしたことによるものであります。

「万能調味料」として、使い方、食べ方提案など商品価値を伝える営業をさらに強化して売上拡大を図ってまいります。

以上の結果、売上高は18億71百万円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益は5億91百万円（前年同期比6.7%増）となりました。

②レストラン事業

当第1四半期連結累計期間は「レストラン事業の黒字化」のもと売上拡大と利益改善を図ってまいりました。平成30年4月にグランドメニューを改定し、メニュー数は絞り込みましたが、サラダメニューの充実や健康メニューの強化を図りました。おいしさにこだわるとともに、サラダに使う生野菜をすべて国産に切り替えました。

また、平成30年5月からの「冷製パスタフェア」では、例年実施していた他社とのコラボ企画を廃止し、独自色の強いフェアメニューを打ち出しました。ディナーメニューとしては、「パスタだけではなく、様々な食事シーンの提案」、「種類や量を選べるパスタ」、「デザート、ドリンク強化」を行いメニューの充実を行いました。

損益面では、個店別に細かな原価管理を行ったことや、不採算店の閉店効果もあり収益が改善いたしました。

ミスタードーナツ事業は、売上高及びセグメント利益に貢献いたしました。

以上の結果、売上高は6億57百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は9百万円（前年同期は21百万円のセグメント損失）となりました。

③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、売上高は41百万円（前年同期比0.8%減）、セグメント利益は22百万円（前年同期比4.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1億7百万円減少し88億72百万円となりました。これは主に現金及び預金が1億22百万円、流動資産の「その他」が53百万円、投資その他の資産の「その他」が44百万円それぞれ減少する一方、売掛金が88百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ1億20百万円減少し37億17百万円となりました。これは主に短期借入金の返済1億50百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ12百万円増加し51億54百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億21百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益1億27百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,456,338	1,333,462
預け金	68,634	65,740
売掛金	1,471,208	1,560,017
商品及び製品	99,914	98,875
仕掛品	4,087	3,783
原材料及び貯蔵品	112,322	125,406
その他	271,828	218,761
貸倒引当金	△3,943	△4,217
流動資産合計	3,480,391	3,401,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,084,435	2,085,995
土地	2,006,202	2,006,202
その他(純額)	649,420	661,428
有形固定資産合計	4,740,058	4,753,626
無形固定資産	32,950	31,598
投資その他の資産		
敷金及び保証金	403,147	402,879
保険積立金	68,764	72,088
その他	275,165	230,948
貸倒引当金	△20,974	△20,867
投資その他の資産合計	726,102	685,049
固定資産合計	5,499,111	5,470,274
資産合計	8,979,502	8,872,104

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	539,233	531,704
短期借入金	1,500,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	158,266	143,266
未払金	559,426	611,666
未払法人税等	12,843	25,567
賞与引当金	46,480	26,009
その他	329,976	334,239
流動負債合計	3,146,225	3,022,453
固定負債		
長期借入金	287,632	256,399
役員退職慰労引当金	131,207	138,363
退職給付に係る負債	67,494	72,909
資産除去債務	79,319	79,652
その他	125,878	147,662
固定負債合計	691,531	694,985
負債合計	3,837,756	3,717,439
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金	1,074,635	1,074,635
利益剰余金	3,301,523	3,307,907
自己株式	△302,893	△302,893
株主資本合計	5,115,655	5,122,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,790	39,384
為替換算調整勘定	△2,699	△6,759
その他の包括利益累計額合計	26,090	32,625
純資産合計	5,141,745	5,154,665
負債純資産合計	8,979,502	8,872,104

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,457,127	2,569,397
売上原価	965,932	1,001,412
売上総利益	1,491,194	1,567,984
販売費及び一般管理費	1,352,903	1,359,697
営業利益	138,291	208,287
営業外収益		
受取利息	153	79
受取配当金	134	128
貸倒引当金戻入額	125	—
為替差益	—	271
その他	560	983
営業外収益合計	973	1,463
営業外費用		
支払利息	2,421	2,177
為替差損	16	—
その他	643	630
営業外費用合計	3,082	2,808
経常利益	136,183	206,942
特別利益		
受取保険金	170,785	—
特別利益合計	170,785	—
特別損失		
固定資産除却損	132	2,078
役員退職慰労金	177,366	—
その他	1,700	—
特別損失合計	179,198	2,078
税金等調整前四半期純利益	127,770	204,864
法人税、住民税及び事業税	11,500	16,121
法人税等調整額	49,853	60,860
法人税等合計	61,353	76,982
四半期純利益	66,416	127,881
親会社株主に帰属する四半期純利益	66,416	127,881

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	66,416	127,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,672	10,594
為替換算調整勘定	△3,462	△4,059
その他の包括利益合計	1,209	6,535
四半期包括利益	67,626	134,417
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	67,626	134,417

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,786,376	629,437	41,313	2,457,127	—	2,457,127
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	487	487	△487	—
計	1,786,376	629,437	41,800	2,457,614	△487	2,457,127
セグメント利益 又は損失(△)	554,740	△21,361	21,865	555,244	△416,952	138,291

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は416,952千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,871,007	657,198	41,190	2,569,397	—	2,569,397
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	291	291	△291	—
計	1,871,007	657,198	41,482	2,569,688	△291	2,569,397
セグメント利益	591,808	9,229	22,862	623,900	△415,613	208,287

(注) 1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は415,613千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。